

各 位

2021年11月15日
株式会社天夢人

楽しい旅の思い出を
心にも写真にもとどめたい、
そんな旅好き・写真好きのための一冊。
『旅する鉄道写真』を発売

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人
(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝峰富雄)は、2021年11月16日に
『思いのままに記録する 旅する鉄道写真』を刊行します。



旅の相棒はカメラ


旅の記録としての必須アイテム・写真。あなたにとっての「よい写真」とは。本書では、
撮影テクニックだけではなく、被写体の見方や向き合い方についても考えます。

シャッターを押すときのワクワク感をたいせつに。楽しい旅の思い出を、心にも写真にも
とどめたい、そんな旅好き・写真好きのための一冊です。

思いのままに記録する方法

本書は一般的な鉄道写真の指南書とは異なり「鉄道の旅を撮る」を主テーマとしています。車両や列車を「こう撮るべき」という定番的なサジェスションはほとんどありません。

まずは旅を楽しみ、柔軟な発想と自由な視点で思いのままに記録する。そのための被写体の探し方や、着目したい点などアドバイスを多く盛り込みました。



途越本線 峠越〜野尻川
Full size Digital・24・70mm (70mm)・1/2000 秒・F5.6・ISO200・Daylight

section 1

車窓は額縁。

21
20

古き駅舎に敬意を払って。

言うまでもありませんが、私たちが列車に乗り降りする場所が駅です。駅は駅舎から始まり、駅に終わります。人々と駅舎の最も身近な接点であり、駅舎やホームは時に身近な存在といえるでしょう。

日本の鉄道が150年あまりの歴史を刻むなか、線路を走る車は次々近代化を進んできました。しかし、昭和初期から昭和末期に建設された駅舎が、今も変わらずに残っています。それらの駅舎と出

会うとき、私には、えもいわれぬ懐古の念が湧いてくるのです。鉄道線路が全国へ伸びていった昭和時代には大きな駅舎があり、国士が集土と化し、やがて駅舎を建てました。高度経済成長へと進むなか、日本の鉄道は黄金期を迎えます。しかし、昭和の終わりには、日本国鉄は多額の負債を抱えて民間化。その時かすでに35年の時を越えようとしていました。

楽しい時も苦しい時もあつたでしょう。働き続ける鉄道の駅舎、時代とともに変わりゆく人々や町の様子を駅舎は「つと」に記録してきたのだと思います。私が想像したからでしょう。鉄道写真において、いつも主役は車両であり、駅舎は、主役を引き立てる脇役にするべきです。

駅舎を主役にするにはどうすればいいか？考えました。

至らざるもに目を向けます。駅舎が、主役となる鉄道の写真のスタイルを紹介したいと思います。



歴史を刻んだ駅舎には独特の風情がある。駅舎の玄関として70年以上も時代を記録してきた駅舎は、穏やかな夕暮れの光が照らっていた。

43
42

【目次】

Imagegraph 光景寸景

【第1章】鉄道旅写真

Section 1・車窓は額縁。

鉄道旅写真とは。／車窓を撮る。／車窓と車内の明暗差を活かす。／
車窓は側面だけにあらず。／流れる車窓を撮る。／車窓風景を流し撮り。／窓ガラスを撮る。
車窓への映り込み。／車窓に見える土地の営み。／さまざまな車窓を撮る。

(column) 僕の本棚から (1)

Section 2・駅を撮る。

古き駅舎に敬意を払って。／木造駅舎を写真の主役に。／木のぬくもりを描写する。／
駅の細部を観察する。／古レールの造形美。／跨線橋。

(column) 僕の本棚から (2)

Section 3・レールの輝き。

僕がレールを撮る理由。／レールの輝きを捉える。／レールと季節と。／
眠る森のレール。／埋もれる道のレール。

Section 4・鉄旅スナップ。

記憶に留めておきたい旅の風景／駅の待ち時間を楽しむ。／光と影を活かす。／
生活感ある光景と出会う。／何気ないけど魅力的な寸景。／雨もまた楽しや。／
旅先の美味しいもの。／旅先で撮る旅のアイテム。／旅先で出会う人々。

(column) 僕の本棚から (3)

【第2章】車両写真と鉄道風景写真

Section 1・さまざまな角度から撮る車両写真。

定番ではない鉄道写真。／車両のパーツをクローズアップ。／望遠レンズで撮る。
広角・標準レンズで撮る。／躍動感のある車両写真。

(column) 僕の本棚から (4)

Section 2・鉄道風景写真を撮る。

鉄道風景とは。／風景と列車と。／花と列車と。／さくら・桜・サクラ。／逆光・半逆光。
魅惑のマジックアワー。／世界の鉄道を撮る。

(column) 僕が旅にハマった理由

【第3章】旅の前後に。

Section 1・旅カメラと旅写真と。

よい旅写真を目指す前によりよい旅を。／旅のカメラ機材。／単焦点レンズの魅力。／
ハマるオールドレンズ。／モノクロフィルムのあじわい。／フィルムカメラの愉しみ。
古い写真を蘇らせる。／旅写真を飾る。／写真展にチャレンジ。／
主なギャラリー・レンタル暗室

【著者紹介】

米屋こうじ よねや・こうじ

1968年山形県生まれ。生活感のある鉄道風景のなかに人と鉄道の結びつきを求めて、日本と世界を旅しながら撮影を続ける。2004年春の「青春18きっぷ」キャンペーンポスターを撮影。2017年には『ナショナルジオグラフィック（日本語版）』のグラフページ掲載など活躍。著書にアジア鉄道旅で出会った人々との触れ合いを綴ったエッセー集『ひとたび てつたび』、写真集『I LOVE TRAIN-アジア・レイル・ライフ』（ころから）。駅長を務めた祖父や国鉄に奉職した叔父の仕事聞き書きした『鉄道一族三代記』（交通新聞社）など多数。写真展も数多く開催し作品を発表している。

【書誌情報】

書名：『思いのままに記録する 旅する鉄道写真』

仕様：B5判 144ページ

定価：2200円（税込）

発売日：2021年11月16日

全国書店、オンライン書店のAmazonなどで発売中。

<https://amzn.to/3heR9ZP>

【株式会社天夢人】 <https://temjin-g.com/>

2007年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道（奇数月21日発売）』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証1部9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当：揚野

Tel: 03-6413-8755 / E-mail: info@temjin-g.co.jp

URL: <https://temjin-g.com/>